



**Global
Platform®**

Securing the digital future

GlobalPlatform 年次報告書 2025



理事長からのメッセージ	02
エグゼクティブ・ディレクターからのメッセージ	03
GlobalPlatform技術の展開	04
GlobalPlatformのエグゼクティブチームと理事会	06
デジタルの将来を保護	08
加盟企業の地理的分布	09
私たちの技術	10
戦略的な重点分野	11
私たちの活動	12
私たちのサービス	22
新しいトピック	25
GlobalPlatform加盟の価値	26
会員企業・組織	27
業界パートナー	28
加盟企業の声	29

理事長からのメッセージ

本年、GlobalPlatformでは、デジタルサービスをセキュアにするミッションを進め、コネクテッドなエコシステムに対する信頼を築いてきました。コネクテッド技術が急拡大するにつれて、私たちは新しい市場に展開し、セキュリティと相互運用性を確保する仕様、フレームワーク、パートナーシップを展開しました。

過去12カ月のハイライト

- **デジタルライフの将来を実現:**私たちの技術は、多くのユースケースで展開されており、デジタルアイデンティティ、金融、自動車、旅行にわたっています。このなかには、欧州連合デジタルアイデンティティ (EUDI) ウォレットなど、新しいデジタルアイデンティティのスキームが含まれており、そこでは私たちが、デジタルの決済とアイデンティティのためのセキュアな基盤を提供しています。
- **新技術によるデジタルIDの促進:**GlobalPlatformは、セキュアなデジタルIDの展開のため、2つの重要な構成を開発しました。Secure Application for Mobile (SAM) とCryptographic Service Provider (CSP) です。SAMはセキュアエレメント (SE) 上でアイデンティティアプレットの配置を標準化します。一方、GlobalPlatformのCSPは、アプレットがいったん認証を受けると、EUCC公認のプラットフォーム全体での使用を可能にします。
- **オートモーティブセキュリティの連携を推進:**オートモーティブタスクフォースは、ソフトウェア定義車両 (SDV) の要件の理解に加え、自動車サプライチェーン全体のセキュリティコンプライアンスの調整において、大きく進歩しました。新しいグローバルなOEMと重要なエコシステムのプレーヤーがGlobalPlatformに参加し、新しい自動車ソリューションの提供を加速しています。

- **SESIPによるCRA対応の推進:**ヨーロッパのサイバーレジリエンス法 (CRA) が施行され、IoT製造業者は、遵守を証明するための費用効率が高い方法として、SESIPを採用しています。SESIPは、製品とサプライチェーンのセキュリティ評価を行うための実績のある方法を提供しています。また、私たちは新たな認証機関 (CB) や評価機関 (ラボ) を加え、活動領域を新しい産業分野へも拡大しました。
- **中国での取り組みを強化:**私たちは、中国の国家金融技術証明センター (NFTC) との覚書に署名し、中国のIoTセクター全体のSESIP採用への道を開きました。また、機密コンピューティングエコシステムと協力するため、グローバルコンピューティングコンソーシアム (GCC) との覚書も締結しました。

産業界や規制が進化し続ける中において、GlobalPlatformは、その俊敏性、協業体制、そして高度な専門性を強みとして、業界をリードしていきます。

また私は、私たちのミッションを支援するセキュリティ専門家のコミュニティを生み出すうえで、すべての会員が非常に貴重な貢献を行っていることに感謝したいと思います。



Stéphanie El Rhomri

Stéphanie El Rhomri
Chair of the Board

エグゼクティブ・ディレクターからのメッセージ

GlobalPlatformのミッションは明らかです。セキュアかつ相互運用可能で、信頼できるデジタルサービスを実現することです。コネクテッド技術が成長するなか私たちは、今後もコンプライアンスを簡素化し、イノベーションを促進する標準化されたセキュリティフレームワークのもとにステークホルダーをまとめていきます。今後は、技術的な整合性を深め、ユースケースを広げて、主要セクターでの採用を加速することを目指します。協力に加え、信頼できるデジタルインフラへのコミットメントの共有により、これを可能とします。

今後の戦略的優先事項

- **IoTラベリングと遵守の調和:**複数のセキュリティスキームで再利用できる1つのセキュリティ評価スキームに関して、IoT業界 (PSA認証エコシステムなど) を連携させます。この取り組みにより、断片化が低減し、コンプライアンスが簡略化され、ステークホルダーは、コネクテッド製品のセキュリティ水準を示す一貫した方法が得られます。
- **リモート証明の拡大:**GlobalPlatformは、IETF RATSに基づき、他の業界と協力して、セクター全体のデバイス完全性を検証する信頼の基点に基づき、スケーラブルな認証モデルを支援しています。
- **将来の隔離技術:**GlobalPlatformは、MicroTEEsやCSPなどの革新的なソリューションの提供により、その信頼の基点の技術を応用して、さまざまなニーズと運用環境に対応できるよう取り組んでいます。
- **PQCを支援するSE技術の進化:**新しいカード仕様のリリースに基づき、私たちは今後も、ポスト量子の要求事項に対処する将来のニーズに取り組み、決済、モバイル、アイデンティティ、IoTで使用されるセキュアエレメントのレジリエンスを確保します。

- **SESIPによるCRAコンプライアンスの支援:**業界のCRAコンプライアンスを支援するにあたり、私たちは今後も、重複を低減させ、スケーラブルな規制上の整合を支援する、柔軟かつコンポーネントベースの認証手法として、SESIPの背後にあるサイバーセキュリティエコシステムを連携させます。
 - **eIDウォレットとデジタル通貨の将来に対する支援:**私たちは、セキュアエレメント技術を進化させ、政府と中央銀行の要件を満たすことにコミットしています。
 - **自動車のセキュリティ促進:**私たちは、自動車OEMとサプライヤーとの関わりを深め、急速に変化するサイバーセキュリティ要件を満たし、ソフトウェア定義車両への移行を促進する技術を提供しています。
- 私たちが信頼できる次世代のデジタルインフラを築くにあたり、GlobalPlatformとの協力をお願いいたします。



Ana Tavares Lattibeaudiere

Ana Tavares Lattibeaudiere
Executive Director

GlobalPlatform 技術の展開

GlobalPlatformの技術は、その認証済みセキュアエレメント (SE) と信頼できる実行環境 (TEE) を利用する全世界の950億以上のデバイスにより、デジタル経済を確実なものとし、取引、認証、機密データを保護しています。

 セキュアエレメント

800億超

GlobalPlatformのSEは、スマートフォン、スマートカード、IoTデバイスで出荷され、耐タンパー性のソリューションをデジタル取引と暗号処理に提供

 信頼できる実行環境

150億超

のデバイスがGlobalPlatformのTEEを搭載して出荷され、セキュアな決済、生体認証、コンテンツ保護などを可能にする隔離された環境を実現

GlobalPlatformの技術は、毎日、何十億もの消費者が利用：



90億超

のアクティブSIMがモバイル・ネットワーク上でユーザーとデバイスを認証



130億超

のアクティブなキャッシュカードにより、セキュアかつ柔軟な決済体験を実現



11億超

の電子旅券と身分証明書類を政府が発行



1兆6000億ドル超

の非接触型の決済をスマートフォンのGP TEEを用いて処理 (2024年)



4億

のGP基準に従ったセキュアコンポーネントが今日までに車両に配備されており、2021年のチップ不足以降、ほぼ40%の増加に相当



GlobalPlatform のエグゼクティブチ ームと理事会

エグゼクティブチームは、GlobalPlatformの技術仕様の開発と採用に責任を負っており、私たちの業務に対する認識と理解を推進し、日々の運営を管理しています。



Ana Tavares Lattibeaudiere
Executive Director



Gil Bernabeu
Chief Technology Officer



Tono Aspinall
Operations Director



Francesca Forestieri
Head of Automotive



Bonnie Martin
Operations Manager

会員主導の組織であるGlobalPlatformは、GlobalPlatformの正会員企業の11名の代表者から構成される理事会が統治しています。理事会は、そのビジョンとミッションを支援するため、GlobalPlatformの戦略を作成し、その実行を監督します。



Stéphanie El Rhomri
GlobalPlatform Chair,
FIME



Olivier Van Nieuwenhuyze
GlobalPlatform
Vice Chair,
STMicroelectronics



Jürgen Hirschinger
GlobalPlatform
Treasurer and
Secretary,
G+D



Rob Coombs
ARM



Eikazu Niwano
NTT Corporation
*retired March 31st



Sebastian Hans
Oracle



Jeremy O'Donoghue
Qualcomm



Guillaume Phan
Thales



Scott Migaldi
T-Mobile USA



Richard Hayton
Trustonic



Marc Kekicheff
Visa Inc.



デジタルの将来を保護

GlobalPlatformは、セキュアで信頼できる相互運用可能なデジタルの将来の基礎を築いています。

先進的な基準を設定し、こうした基準の採用を推進することにより、私たちは、政府、組織、業界に対して、自信を持ってセキュアなデバイスと革新的なサービスを提供する能力を与え、プライバシー、セキュリティ、信頼のうえに築かれるデジタルエコシステムにユーザーが関与することを可能にします。



技術

最先端かつ標準に基づいたセキュリティ技術の提供

銀行チップカードから、モバイルデバイス、IC旅券まで、GlobalPlatformは、重要なデジタルサービスと個人データをセキュア化します。



業界

各業界でセキュアなデバイスとサービスを展開

GlobalPlatformのセキュリティ技術は、銀行業務とモバイルを革新しており、現在はデジタル化に向かう道筋で、あらゆる業界を支援する用意ができています。



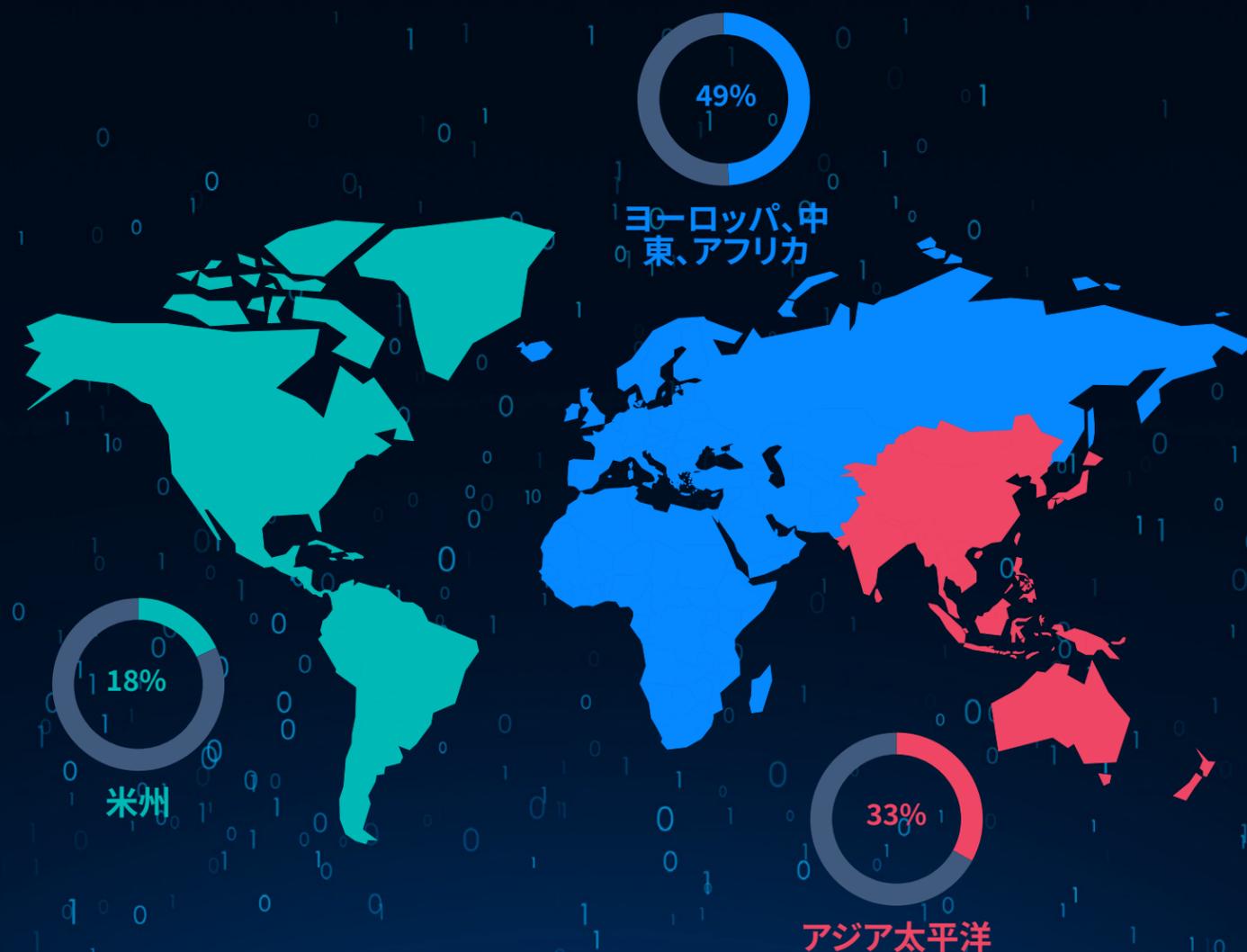
認証

デジタル技術を認証し、変化する規制に適合

GlobalPlatformは、高品質な独自の認証のためのツールとフレームワークを提供し、政府、企業、消費者がデジタル技術を信頼し、自信を持って使用できるようにしています。

加盟企業の地理的分布

GlobalPlatformの会員制度は、デジタルエコシステム全体の重要なステークホルダーをまとめ、セキュリティと認証に対する協調的なアプローチを促進します。



私たちの技術

GlobalPlatformは、セキュリティの標準化と認証を組み合わせることにより、デジタルの将来をセキュアなものとしします

GlobalPlatformは、ベストプラクティスの基準とセキュリティ保証を実現するセキュアコンポーネントと認証フレームワークを通じて、デジタルの将来をセキュアなものとしします。これにより、ベンダーは、品質を損なうことなく、セキュリティのコストを低下させることができます。GlobalPlatformは、現在のデジタルサービスを保護しながら、将来のソリューションを開発する基礎的な技術 (SEとTEE) を定義・維持します。そのベンダーニュートラルな基準は、セキュア、スケーラブルかつ相互運用可能なシステムのバックボーンとなり、各種の標準化団体と業界団体も参照しています。そうした団体には、カー・コネクティビティ・コンソーシアム (CCC)、EMVCo、GSMA、ETSI、NIST、PSA Certified、OSIA、ISOが含まれ、技術と市場での整合性を確保しています。

モバイルとバンキングで実績のあるGlobalPlatformの技術は現在、政府、ヘルスケア、自動車、産業IoTのデジタル化を支えています。セキュアコンポーネントは、デバイス内の重要データを保護し、シームレスで信頼できる相互作用を可能にします。SESIIPやGlobalPlatformのセキュリティスキームなどの認証フレームワークは、製品が最高のベンチマークを満たすことを確認し、信頼を築き、コンプライアンスを簡略化し、コストを抑えます。

オープンかつ自主的に開発されたGlobalPlatformの基準は、ステークホルダーに自律性と柔軟性を与えながら、量子コンピューティングやAIなどの新たに生じた脅威に対して、将来に備えた設計を行うのに役立ちます。公共サービスにおけるセキュアなアイデンティティから、EUDIウォレットまで、GlobalPlatformは、デバイスとサービス間の不可欠な橋渡し役であり、信頼を促進し、全世界でセキュアなデジタルトランスフォーメーションを加速しています。



戦略的な重点分野

オートモーティブ



GlobalPlatformは、技術的なロードマップを調整し、SDVのハードウェアとソフトウェアを保護しています。

現代の自動車は、増大するサイバーセキュリティのリスクに直面しており、新たに生じた厳しい規制を遵守する必要があります。標準化され、認証可能なセキュリティソリューションのニーズが生まれています。GlobalPlatformは、規制要件と現実世界における実行との間のギャップを埋めています。私たちは、SAE J3101に基づきハードウェア保護されたセキュリティ環境に対して直接、私たちのSEとTEEの仕様をマッピングし、自動車メーカーとサプライヤ

ーがGlobalPlatformの標準化されたソリューションを通じて、J3101のほぼ100%を満たすことを可能にしています。さらに、SESIIPによるセキュリティ認証により、自動車ECOSYSTEMがハードウェアセキュリティ基準の遵守を証明することを可能にすると同時に、私たちは、ECUのためにSESIIPプロファイルを開発するにあたり、認証をソフトウェアに提供しよう努めています。

eIDウォレット



GlobalPlatformは、グローバルなデジタルウォレットの展開に備え、業界ステークホルダーと政府規制機関との協力をコミットしています。

GlobalPlatformは、ユーザーデバイス内の機密識別データを保護する、成熟し、標準化された技術 (すなわちSE) を提供することにより、EUDIウォレットのセキュア化において主要な役割を果たしています。私たちの仕様は、強力なハードウェアベースのセキュリティ、信頼できるアプリケーション管理、シームレスな相互運用性を可能にし、プライバシー、認証、データの完全性に関する最も厳しい要件

をeIDウォレットが確実に達成するのに役立っています。グローバルにデジタルアイデンティティのイニシアチブを支援するコミットメントの一環として、GlobalPlatformは、今後も仕様を進化させて、新たに生じたニーズに対処し、世界中でデジタルウォレットのセキュアな展開を支援していきます。

IoTプラットフォームセキュリティ評価基準 (SESIIP)



SESIIPの手法により、コンポーネントやデバイスのメーカーは、ソフトウェアとハードウェアのセキュリティを大規模に実現することができます。

ヨーロッパの規格EN 17927として、SESIIPは、セキュリティ評価に対するコンポーネントベースで再利用可能なアプローチを実現します。これにより、メーカーは、EUの無線機器指令 (RED) や施行予定のCRAなど、主要な規制の遵守を証明することができます。SESIIP認証済みのコンポーネントで構築することにより、組織は、冗長な試験を減らし、市場投入までの時間を早めることができます。

SESIIPは、TSI、NIST、ENISAなどの基準団体の承認を受けており、コンプライアンスに対するスケーラブルでリスクベースの道筋を提供し、これによりイノベーションを支援しながら、コネクテッドのデバイスにおける強力なセキュリティを確保します。

私たちの活動



GlobalPlatformの標準化された技術と認証は、技術委員会とタスクフォースでの業界横断的な協力を通じて展開されています。この取り組みは、業界団体・規制団体と協力して活動する多様な加盟企業が先導しています。

協力によるイノベーション

技術委員会

新たに出現する市場の要求や技術革新に対応するための技術を開発する場です。この活動には、正会員と参加会員が参加できます。

Secure Element Committee

作業グループ
SEセキュリティ
SE仕様
SEコンプライアンス

SESIP Committee

作業グループ
エコシステム採用
ガバナンス
技術
オートモーティブ

TES Committee

作業グループ
TESプラットフォーム
TESコンプライアンス
TESセキュリティ
TESサービス

タスクフォース

私たちの技術ロードマップへの影響を見極めるために、様々な要求事項を収集する場です。この活動には、会員であれば誰でも参加できます。

Automotive Task Force

Security Task Force
(暗号、ソフトウェア攻撃の専門家、xBOM)

eID Wallet Task Force

Regional Task Forces
中国

Regional Task Forces
日本

Secure Element Committee



Chair:
Guillaume Phan
Thales



ミッションと目的

SE委員会は、セキュアエレメント (eSE、UICC、スマートカードなど) 上でのアプリケーションの安全な導入とライフサイクル管理のための仕様を定義しています。

この委員会は技術標準の維持、認証の推進、業界団体との連携を支援し、市場全体での相互運用性と信頼性のあるデバイスセキュリティを確保しています。

主な活動

- **モバイル向けセキュアアプリケーション (SAM):** GSMAとMNOからの支援により、eSIM/eSEへのセキュアなアプリ配備を実現します。
- **OSアップデート:** 標準化されたSE OSアップデートプロセスを定義して、EUCCなどの規制要件を満たします。
- **IoTの信頼の基点:** IoTでのSE使用を拡大して、一般のハードウェアインタフェースとセキュアリモート管理への支援を追加します。
- **FIDO統合:** 強力な認証のため、SE保護プロファイルをFIDOレベル3以上の認証に一致させます。
- **ポスト量子への準備:** アジャイルで量子耐性のあるプロトコルにより、将来の暗号上の課題に向けてSEを準備します。
- **欧州連合デジタルアイデンティティ (EUDI):** SAMと暗号サービスプロバイダを利用して、デジタルウォレットのセキュアでデバイスに依存しない展開を支援します。



本年に公開された仕様:

- Secure Element Protection Profile and extensions v2.0 (2025年7月31日)
- Secure Channel Protocol '04'; Card Specification v2.3 - Amendment K (2025年6月30日)
- Protection Profile for FIDO2 SE v1.0 (2025年3月24日)
- GlobalPlatform Card API v1.8 (2025年3月18日)
- Secure Element Management Service - Amendment I v1.2 (2024年10月22日)

貢献

SE委員会は、信頼できる証明可能な技術を提供し、モバイルやIoTから、アイデンティティや自動車まで、業界全体で機密データを守ります。その取り組みにより、相互運用性、コンプライアンス、イノベーションを強化し、デジタルトラストの基礎としてセキュアエレメントを位置づけます。

SESIP Committee



Co-Chair:
Georg Stütz
NXP Semiconductors



Co-Chair:
Philippe Gaudillat
STMicroelectronics

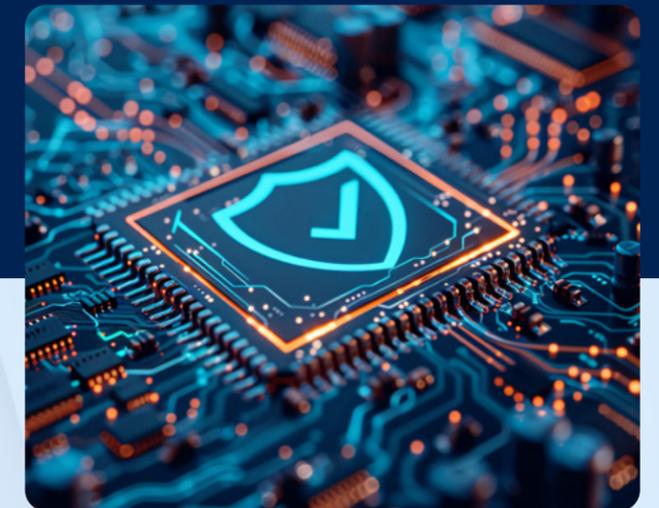


ミッションと目的

SESIP委員会はIoTプラットフォーム向けセキュリティ評価基準 (SESIP)のグローバルな採用を推進しています。この基準は、ハードウェア/ソフトウェアのコンポーネントとプラットフォームに対するサイバーセキュリティ、プライバシー、規制上のニーズを満たすための柔軟な手法です。委員会は、業界でSESIPを推進し、認証の再利用を支援し、国際標準に一致させることにより、セキュリティ評価を簡易化して、コネクテッドデバイスに対する信頼を改善します。

主な活動

- **拡張エコシステム:** 新しいラボと認証団体を追加して、「SESIP採用者」コミュニティを育成しています。
- **ガバナンスのアップデート:** SESIPガバナンスv1.2をリリースして、認証プロセスを明確にし、一貫した応用を促進しました。
- **新しいプロファイルとマッピング:** RED、NIST、IEC 62443、UNECE WP.29などの主要な標準に対するセキュアなMCU/MPUとマッピングのため、アップデートされたSESIPプロファイルを公開しました。
- **ヨーロッパの標準化:** SESIPは、ヨーロッパの標準EN 17927であり、RED、CRAその他のフレームワークに対するコンプライアンスを支援しています。
- **グローバルな展開力:** 地域当局 (中国のNFTCなど) との協力に加え、その他のスキームとの相互認識を可能にする継続的な取り組み。
- **業界横断的な有用性:** 自動車、ヘルスケア、産業、消費者向けIoTアプリケーションで使用されており、認証を合理化し、コストを削減します。



本年に公開された仕様:

- SESIP Profile for Secure MCUs and MPUs v1.1 (2025年6月2日)
- SESIP to IEC 62443-4-2 Mapping v1.0 (2025年5月21日)
- SESIP to SSIPS Mapping v1.0 (2025年4月16日)

貢献

SESIPは、効率的、スケーラブルで、規制に対する準備ができていないIoT認証を実現し、メーカーにとっての複雑さを緩和して、製品が市場に出るまでの時間を早めます。SESIPの管理者として、GlobalPlatformは、継続的な技術開発とグローバルな妥当性を確保します。

TES Committee



Chair:
Richard Hayton
Trustonic

TRUSTONIC

ミッションと目的

TES委員会は、隔離プラットフォーム(特にTEE)に関するGlobalPlatformの基準を開発・維持し、デバイス内外で信頼できるサービスへのセキュアなアクセスを確保します。それにより、技術仕様、脅威モデリング、認証プログラム、業界内の協力を推進し、セキュアな実行環境を支えます。

主な活動

- **プラットフォーム仕様の維持:** TESプラットフォームとTESサービスのワーキンググループを通じて、TEEとTPSの仕様を進化させ、ハイエンドのCPUに対するMCUを支援します。
- **認証とコンプライアンス:** ポータビリティ、相互運用性、有効な評価のため、TEEコンプライアンスとセキュリティ認証プログラムを開発します。
- **自動車のセキュリティ:** 新たに生じた規制(例: UNECE 155/156)をサポートし、SAE J3101キーマネジメントと連携して、MCU CPUスケールの保護プロファイルを提案します。
- **クロスプラットフォームの統合:** SEとSESIPの委員会やオートモーティブタスクフォースと協力して、高信頼プラットフォームのサービスと認証を調整します。



本年に公開された仕様:

- TEE API Call Validation v1.0 (2025年6月2日)
- TPS Client API Specification v1.0 (2025年4月14日)
- TPS Keystore Protocol Specification v1.0 (2025年4月14日)
- Secure Element Access Control v1.2 (2025年1月9日)

貢献

TES委員会は、多様なプラットフォーム上でセキュアなサービスを支える、強力かつ多層的な隔離基準を提供します。これは、モバイル、自動車、IoT、スケラブル計算、AIにわたっています。その一元的な仕様と認証プログラムは、イノベーションを加速し、新たに生じた規制の遵守を確保し、セキュアなアプリケーション向けの信頼される相互運用可能なエコシステムを促進します。

Automotive Task Force



Co-Chair:
Bill Mazzara
Stellantis

STELLANTIS



Co-Chair:
Richard Hayton
Trustonic

TRUSTONIC

ミッションと目的

オートモーティブタスクフォースは、OEM、サプライヤー、エコシステムのパートナーをまとめ、進化する自動車のサイバーセキュリティ要件にGlobalPlatformのSEとTEEの技術を一致させます。そのミッションは、協力的で基準主導型のエコシステムを開発し、主要なステークホルダーと関わりを持って、GlobalPlatformの技術が自動車バリューチェーン全体で重要かつ展開可能で、影響力を持つようにすることです。

主な活動

- **SAEとの基準の調整:** J3101-5を通じて、どのようにGPのSE/TEEがハードウェア保護されたセキュリティ要件に関するSAE要件を満たすかを示します。
- **AUTOSARとの協力:** 協力して、整合性を確保し、GP技術を組み込むことで、AUTOSARのセキュリティドキュメントを拡張します。
- **カー・コネクティビティ・コンソーシアムとの連絡:** デジタルの自動車キーをセキュア化し、その他のセキュリティのユースケースを支援するため、車両のSEを活用します。
- **先進的な自動車セキュリティサービス:** パフォーマンス、暗号のアジリティ、その他の柔軟なセキュリティサービスのため、自動車HSMを交換または増強します。
- **サイバーセキュリティ・ビークルフォーラム:** 一連のグローバルなフォーラムを通じて自動車セキュリティの専門家を集めて、自動車サイバーセキュリティに関する主要な優先事項について協力し、GlobalPlatformの成果を確認します。

貢献

タスクフォースは、自動車エコシステム向けに、GlobalPlatformのSE/TEE技術の整合性を促進するとともに、将来のニーズに直面する際に必要となるセキュリティ機能的な相互運用性と柔軟性という重要なメリットをもたらします。オートモーティブタスクフォースは、GlobalPlatformの技術に関する主要な機会を確認し、現在の自動車セキュリティの課題を解決して、関連するユースケースに優先順位をつけ、GlobalPlatformの技術委員会に自動車の技術要件を詳しく説明し、次世代車両のセキュリティ、プライバシー、規制上のニーズに対処するにあたり、GlobalPlatformのソリューションの妥当性を宣伝します。仕様、基準の調整、業界横断的な協力の積極的な展開を通じて、タスクフォースは、ソフトウェア定義された車両のセキュアな進化を支援します。

サイバーセキュリティ・ビークルフォーラム

サイバーセキュリティ・ビークルフォーラムのイベントは、総合的な自動車サイバーセキュリティを進めることに対するGlobalPlatformのコミットメントをサポートしています。これは、優先的な自動車セキュリティのユースケース、保証レベル、コンプライアンス、ハードウェア保護されたセキュリティ環境の認証、標準化されたAPIにわたっており、高度に技術的なコンテンツと世界中のセキュリティ意思決定者との議論を通じて行われます。2025年、私たちは中国、ヨーロッパ、日本、北米でイベントを実施しました。

eID Wallet Task Force



Chair:
Jean-Daniel Aussel
Thales



ミッションと目的

eIDウォレットタスクフォースは、GlobalPlatformの技術がセキュリティ、プライバシー、シームレスな展開を提供できる、デジタルアイデンティティウォレットのユースケースを確認します。それにより、EUと世界のeIDに関するイニシアチブに対処するうえでのGlobalPlatformの役割を明確にし、メリットを伝え、展開モデル(例:eSIM対eSE)を分析し、標準化団体やアイデンティティステークホルダーと連携して、長期の採用を推進します。

主な活動

- **EUDIウォレット展開のための規制の調整:**セキュアエレメントに集中して、EU eIDAS 2.0規制に基づく高度な保証(「LoA」)を達成します。
- **要件分析:**予定されているGlobalPlatform仕様に関する高水準の技術要件を定義して、より適切にデジタルアイデンティティウォレットを支援します
- **ステークホルダーの関与:**ウォレット開発者、規制機関、加盟国、標準化団体(例:GSMA、ENISA、CEN CENELEC)を関与させて、GP技術を推進し、パイロット展開を支援します。
- **実施ガイドライン:**GlobalPlatform技術を使用する際、政府と商業ウォレット開発者向けの技術・戦略ガイドラインを作成して、EUDIウォレットのセキュリティ、範囲、スケーラビリティ、自律性における最善のバランスを提供します。



貢献

eIDウォレットタスクフォースは、各国とEU全体での大規模なデジタルアイデンティティの展開のため、セキュリティと相互運用性の基礎を築いています。技術モデル(SAM、CSP)を定義し、重要なステークホルダーを関与させ、認証アプローチを具体化することにより、タスクフォースは、2026年のEUDIウォレットの初公開に向けて、セキュアなデジタルIDのパイロットと配備を加速しています。

Security Task Force



Chair:
Olivier Van Nieuwenhuyze
STMicroelectronics



ミッションと目的

セキュリティタスクフォースは、GlobalPlatformの全体的なセキュリティ方針を設定し、セキュアで相互運用可能な実施に貢献します。タスクフォースは、暗号とxBOMのサブタスクフォース、SESIP委員会、政府組織と協力して、セキュリティ要件を定義し、新しいサイバーセキュリティの規制を満たすよう支援し、暗号アルゴリズムの推奨を維持します。

主な活動

- **外部の協力:**ENISA、政府機関(すなわち ANSSI、BSI、NIST、NSA)および業界と協力して、GlobalPlatformのセキュリティ要件が多様なアプリケーションを対象とし、サイバーセキュリティのフレームワークに合致するようにします。
- **技術委員会との協議:**GlobalPlatformの技術委員会で、暗号、認証、セキュアな応用について助言します。
- **セキュアな技術の確認:**各種の市場内のセキュアな技術を分類し、暗号サブタスクフォースを通じて、暗号のアルゴリズムと鍵長のアップデートを推進します。
- **TPMシナジー:**TPMおよび同等のライブラリとGlobalPlatform技術との統合を調査します。



本年に公開:

- Cryptographic Algorithm Recommendations v3.0.1 (2025年5月27日)
- Cryptographic Algorithm Recommendations v3.0 (2025年4月11日)

貢献

セキュリティタスクフォースは、GlobalPlatformのセキュリティアーキテクチャを具体化し、暗号のアジリティ、透明性、規制基準との調整を推進します。そのサブタスクフォースは、暗号と部品表(BOM)に関する強力で調整された戦略を確保し、業界全体のセキュアな設計、評価、展開を支援します。



Software Attack Expert Sub-Task Force



Chair:
Jeremy O'Donoghue
Qualcomm



目的

AVA_VAN.2とAVA_VAN.3で、GlobalPlatformの攻撃手法を維持・開発し、TEEとSEISIPのスキームに基づき認証を行うラボを支援します。

スコープ

適度なセキュリティ保証水準で、最新の攻撃カタログを作成。製品に関するセキュリティ評価を一貫した厳密な水準で実行し、自社製品が評価される攻撃環境をベンダーが認識するようにし、攻撃に対する有効な対策についての知識を広めます。同一レベルのセキュリティ保証(特にEuro-ISAC JHAS)で、規制グループとの緊密な手法の整合性を維持します。



Crypto Sub-Task Force



Chair:
Beatrice Peirani
Thales



目的

GlobalPlatformの暗号アルゴリズムとプロトコルを検討し、アップデートを推奨します。

スコープ

暗号の傾向を追跡し、アルゴリズムを評価し、改良を提案します。ポスト量子暗号への移行と統合のため、暗号のアジリティとハイブリッド化を促進します。2025年5月、「Cryptographic Algorithm Recommendations v3.0.1 | GP_TEN_053」を公開しました。



xBOM サブタスクフォース



Chair:
Laurent Sustek
STMicroelectronics



目的

ソフトウェア、ハードウェア、暗号部品表(SBOM、HBOM、CBOM)の展開を指導します。

スコープ

ソフトウェア/ハードウェアのコンポーネントの透明性と保証を標準化します。危険分析、DevSecOps、脆弱性をカバーするBOMベストプラクティスを提供します。SEISIPおよび外部団体(IETF、OWASPなど)と協力して、認証の遵守を改善します。



Regional Task Force: China



Chair:
Yi Qiang
Huawei



ミッションと目的

地域に特化した中国タスクフォースは、GlobalPlatformの技術と認証(すなわちSE、TEE、SEISIP)を中国の市場・規制要件に整合させるためのプラットフォームを会員に提供します。タスクフォースは、地域産業、規格団体、認証フレームワークと密接に協力して、地域における採用と会員増を推進します。

主な活動

- **地域の技術適合:** 決済以外のTEEロードマップ、SE/TEEユースケース、認証の要件など、中国に特有のニーズを確認し、これに対処します。
- **ステークホルダーと規格への関与:** (Spark Link、CCSA、TAF、GCCOなどの) 中国の規格組織と連携して、要件に影響を与え、整合性を確保します。
- **ローカライズされたプロモーションと認証:** 中国向けマーケティング、教材、GlobalPlatformの認証スキームの宣伝により、採用を促進します。

貢献

中国タスクフォースは、GlobalPlatformの技術の積み重ねと認証が中国の市場ニーズに一致するようにし、広範囲にわたる採用、有効なローカライゼーション、国内の認証・標準化当局との活発な関わりを支援します。



Regional Task Force: Japan



Acting Chair:
Takanobu Ishibashi
Toshiba



ミッションと目的

日本タスクフォースは、日本市場でビジネスを展開しているGlobalPlatformメンバーのためのフォーラムであり、日本におけるGlobalPlatform技術の普及を促進しています。

このタスクフォースは、日本の産業界から市場および機能要件を収集し、日本の標準化団体と連携して活動しています

主な活動

- **業界および標準化団体との連携:** 日本の標準化団体と協力し、GlobalPlatformの仕様を現地の標準やユースケースに合わせて調整します。
- **市場拡大:** モバイル、IoT、ヘルスケア、スマートシティ、インダストリー4.0分野においてGlobalPlatformを紹介し、日本でのメンバー獲得を積極的に行います。
- **ユースケースおよび技術マッピング:** GlobalPlatformの最新情報を共有し、日本特有のユースケースを分析、日本向けの技術マップやユースケースのライブラリを作成します。

貢献

日本タスクフォースは、GlobalPlatformの日本拠点としての役割を果たし、SE、TEEおよび関連技術が日本市場のニーズに適合できるようにしています。

強力な地域パートナーシップ、教育活動、フォーラムを通じて、採用を促進し、日本のセキュアプラットフォーム・エコシステムにおけるGlobalPlatformの影響力を拡大させています。

私たちのサービス

GlobalPlatform認証：信頼できるスケール可能なエコシステムの創出

認証は、技術エコシステム全体の信用と信頼性を構築するうえで不可欠です。GlobalPlatformの認証と資格証明のスキームを通じてコンプライアンスを示すことにより、ベンダーは、その製品が信頼でき、相互運用可能かつセキュアであることを証明します。



機能適合性およびセキュリティに関する認証マーク

ISO/IEC 17065に基づき認可された認証団体(第5486.01号)として、GlobalPlatformは、SEとTEEを用いた製品に対し、確立された機能的なセキュリティ認証スキームを提供します。認証試験は、私たちの独立した認証事務局の監視のもとで、世界中の適格評価機関によって、承認済みツールを用いて行われます。



GlobalPlatformの認証は、製品が確実に機能し、主要な事業上、セキュリティ上、規制上の要件を満たすことを保証します。

グローバルな認証プログラムの支援

GlobalPlatformの認証サービスは、EMVCo、GSMA、Secure Identity Allianceなどの主要な技術団体を支援しています。私たちのスキームは、EMVCo承認、SGP.24、OSIAなどの仕様の遵守をベンダーが証明するのに役立ち、期待される機能と相互運用性を確保します。



2025年の新たな取り組み：マネージド認証と資格取得サービス

さらにデジタルセキュリティを支援するため、GlobalPlatformは現在、ISO公認のマネージド認証と資格取得サービスをパートナー団体に提供しています。こうしたサービスは、組織が効率的に始動し、独自のコンプライアンスプログラムを管理するのに役立ちます。

利用できるサービス

- サービスは個別に展開することも、組み合わせることもできます。
- 認証事務局サービス**: 私たちは、迅速かつ経済的に、独自の管理、法務、会計、検証の支援を提供します。
- 機能的なテスト戦略と実行**: 仕様から、ツール検証やラボ研修まで、第三者による評価を可能にします。
- セキュリティ評価支援**: ラボ要件と評価プロセスの明確化を支援して、効果的なセキュリティ評価を確保します。



60以上の組織に選ばれている GlobalPlatform認証

現在までにGlobalPlatformが発行したもの:

600超
の証明書

130+

の証明書をGSMA試験スイート向けに発行:

27

のeUICC M2M

110

のeUICC消費者

8



箇所のGlobalPlatformが認定する中国、フランス、スペイン、英国、オランダの評価機関



950億超

のGlobalPlatform対応のセキュアコンポーネントを世界中で発行

研修

GlobalPlatform技術研修: 専門家が提供

GlobalPlatformは、SE、TEE、SESIPを対象とする技術研修プログラムを提供しています。モジュラーコースは、決済、モバイル、アイデンティティ、IoT全体での実用的な応用に関して、深化した知見を提供します。すべてのプログラムはカスタマイズし、社内で提供することができます。



EUデジタルアイデンティティへの準備を支援

EU加盟国が少なくとも1つのEUDIウォレットを提供するための2026年の期限が近づいているため、GlobalPlatformは、EUDI研修のため、自らのSEを通じて発行者と開発者を支援しています。この2日間のコースは、ブリュッセル(2024年10月、2025年3月)で行われ、3回目のセッションが2025年10月に計画されています。

プログラムは、GlobalPlatformの実績のある技術により、EUDIウォレットのために要求されるセキュリティ、スケーラビリティ、相互運用性をどのように実現するかについて、EUの代表者とパートナーが理解するのに役立ちます。この技術は、準備ができており、即時の展開に利用できます。

詳細については、以下にご連絡ください。
secretariat@globalplatform.org

新しいトピック



人工知能

GlobalPlatformがこれまでAIを重視していなかったとしても、アプリケーション、暗号鍵、信頼できるコンポーネントといったデジタル資産のセキュア化という私たちのミッションは、当然のことながら、AIのモデル、データ入力、生成物の保護にも及びます。AIが重要なインフラと消費者技術の一部となっているため、私たちは、どうすれば私たちの基準がAIコンポーネントの完全性、秘密性、レジリエンスを確保できるのかについて、調査を開始しています。同時に、私たちはAIを活用して、セキュアコンポーネント保護を強化し、新規の攻撃ベクトルを検出・軽減しています。この2つの重点(AIのセキュア化と、セキュリティのためのAIの利用)は、信頼されるデジタルイノベーションに対する私たちのコミットメントの新たな一章を示しています。



認証

デジタルシステムが信頼性の証拠をますます必要としているため、認証は、GlobalPlatformにとって新たな重点分野です。認証の基礎にあるのは、信頼の基点です。つまり、デバイスとソフトウェアの完全性を確認するために不可欠な基盤を提供するセキュアコンポーネントです。GlobalPlatformの標準化された技術は、多様な業界とユースケースでの認証サービスの支援に打ってつけです。他の業界および基準組織と協力することにより、GlobalPlatformは、認証フレームワークが相互運用可能、スケーラブルかつセキュアなものとなるよう支援します。



ポスト量子暗号

GlobalPlatformは、自らの技術の暗号の基礎を積極的に評価およびアップデートして、量子コンピューティングがもたらす脅威を含め、新たに生じた脅威に対する長期的レジリエンスを確保しています。この取り組みの一環として、組織は、新しい暗号アルゴリズムの統合に関する指針を提供し、PQCへの業界の移行を支援しています。これには、セキュアコンポーネント(SEとTEE)上の量子安全なアルゴリズムの影響の評価に加え、暗号のアジリティを支援するための仕様のアップデートが含まれます。グローバルなステークホルダーおよび標準化団体と協力することにより、GlobalPlatformは、セキュリティソリューションの将来に備えた設計を支援し、エコシステム全体でPQCへの円滑で相互運用可能な移行を確保しています。



GlobalPlatform 加盟の価値

**GlobalPlatformに
加わり、セキュアで信頼
できる相互運用可能なデ
ジタルの将来を具体化
するうえで、重要な役
割を果たしませんか。**

GlobalPlatformへの加盟は、次世代の仕様開発に貢献することにより、技術責任者がセキュアなデジタルサービスの将来を具体化することを可能とします。会員は、デバイスメーカーから垂直市場の専門家に至る業界専門家との直接の連絡からメリットを受け、急速に進化する環境で先行するための貴重な知見と深いセキュリティの専門知識を獲得します。専門家主導の研修と協力を通じて、企業は、新たに生じた技術と規制による要求事項に対応する能力を持ちます。また会員は、AIや量子コンピューティングなど、変化する課題に対処するうえで主要な役割を果たしながら、GlobalPlatformの基準が実用的、強力で、将来に備えたものとなるようにします。

加盟企業・組織

- Arun Jayadharan
- American Express
- Analog Devices**
- Apple Inc.**
- Applus+
- ARM Limited**
- AT&T
- AustriaCard
- Bactech
- Beijing Unionpay Card Technology Co., Ltd.**
- Beijing ZhiHuiYunCe (DPLS Lab) Equipment Technology Co., Ltd**
- BrightSight by SGS
- BSI - Bundesamt fuer Sicherheit in der Informationstechnik**
- Bundesdruckerei GmbH
- CARIAD SE
- Cartes Bancaires
- CEA - Leti
- COMPRION GmbH
- CPSEC (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- Dai Nippon Printing Co., Ltd.
- DEKRA
- Department of Defense
- Deutsche Telekom Security GmbH**
- Digital Cubes
- Discover Financial Services
- Eastcompeace Technology Co., Ltd
- ETAS
- Feitian Technologies Co., Ltd
- FeliCa Networks, Inc.**
- FIME**
- Galitt**
- Giesecke+Devrient GmbH**
- Google**
- HID Global**
- Huawei Device (Dongguan) Co., Ltd.**
- IDEMIA**
- Infineon Technologies AG**
- Institute For Information Industry
- Internet of Trust S.A.S.
- JCB Co. Ltd.
- Kaspersky Lab
- Keysight**
- Kigen (UK) Lda
- KONA International
- Licel Corporation
- Linaro
- MaskTech International GmbH
- Mastercard**
- MK Smart JSC
- Monetech
- Nextendis
- NthPermutation Security LLC
- NTT Corporation**
- NXP Semiconductors**
- Oracle**
- Orange
- PQShield
- Qualcomm Technologies Inc.**
- Quarkslab
- Rambus
- Renesas
- Safepay Systems Ltd.
- Samsung Electronics**
- Samsung SDS
- SERMA Safety & Security
- Shanghai Fudan Microelectronics Group
- Shanghai Uni-Sentry Intelligent Technology Co., LTD**
- SK Telink
- Spreadtrum Communications (Shanghai) Co., Ltd.
- Stellantis**
- STMicroelectronics**
- Synapse Mobile Networks s.a.
- Thales**
- Thales UK
- T-Mobile**
- Toshiba Corporation
- TrustCB B.V.
- Trustonic**
- UBIVELOX
- UL (Underwriters Laboratories)
- UNISOC
- Valid Soluciones Tecnológicas
- Visa**
- Watchdata System
- Winbond Technology Ltd**
- Wise Security Technology (Guangzhou) Co., Ltd.
- Woven by Toyota
- Wuhan University
- XardPay
- XCure Corp.
- Xiaomi
- Zwipe Germany

- 正会員は太字で表示



業界パートナー

L'Agence nationale de la sécurité des systèmes d'information (ANSSI)

L'Alliance pour la Confiance Numérique (ACN)

APSCA

AUTO-ISAC

AUTOSAR

Car Connectivity Consortium

CCDS

CEN

Cenelec

EMVCo

European Payments Council

EUROSMART

ETSI

FIDO Alliance

Fira Consortium

Global Certification Forum

Global Computing Consortium

GSMA

IoT Connectivity Alliance

IFAA

Institute for Information Industry

ioXt Alliance

ISO

Java Card Forum

National Financial Technology Certification Center

NFC Forum

NICSS

NIST

OMA SpecWorks

Mobey Forum

One M2M

PTCRB

RISC-V

SAE International

Secure Identity Alliance

Secure Technology Alliance

Smart Ticketing Alliance

Trusted Computing Group

Trusted Connectivity Alliance

W3C

Wireless Power Consortium



加盟企業の声

Fimeは、決済、テレコミュニケーション、モビリティ、デジタルアイデンティティの業界で、世界をリードする各種の試験ソリューション、ラボ認証、相談サービスを提供しています。私たちは、独自のグローバルで業界横断的な視点を提供して、顧客がソリューションを展開するのに役立つイノベーションの実行者として活動しています。セキュアエレメント技術委員会に対する積極的な貢献者として、私たちは、GlobalPlatformのあらゆるセキュアエレメント試験計画に加え、顧客のためのGlobalPlatformの適格ラボ・サービスを対象とする適格な試験スイートを提供し、その決済、UICC、eUICC、埋め込みセキュアエレメント (eSE) ソリューションの試験と認証を行っています。またFimeは、デジタルアイデンティティ技術の発展の最先端にあり、革新的なツール、コンサルティング、コンプライアンス試験サービスを提供し、GlobalPlatformのビジョンに沿って、デジタルアイデンティティのソリューションを促進し、シームレスでグローバルな相互運用性を確保しています。



Iain Maxwell,
Product Manager, Fime

Googleは、セキュアかつ革新的なAndroid OEMエコシステムの促進にコミットしており、私たちは、GlobalPlatformの技術が私たちのパートナーに提供する強力なフレームワークを評価しています。EUDIウォレットなどの重要なユースケースに関して、セキュアエレメントは、証明可能な耐タンパー性を有する基礎を築くための確固とした実績のある方法を提供します。

公開予定の暗号サービスプロバイダ (CSP) の仕様は、重要な次のステップです。それにより、私たちのSEパートナーは、基礎的なCSP認証に加えて、金庫アプレット/サービスを効率的に強化することができます。標準的なAndroid Keystore APIを通じて、このCSPの裏づけがあるStrongBoxサービスをアクセス可能とすることにより、私たちは、官民を問わず、すべてのEUDIウォレット開発者が、より容易に最強のハードウェアの裏づけがあるセキュリティに基礎を置くことができるようにします。

究極的な私たちの目的は、デジタルウォレットエコシステム全体の成功を支援し、あらゆる場所の人々に対し、イノベーションに加え、よい素晴らしいユーザー体験を提供することです。GlobalPlatformと私たちの協力は、私たちがよりプライベートでレジリエントなデジタルの将来に対する私たちのビジョンを実現するのに役立ちます。



Dave Kleidermacher,
VP of Engineering, Android Security & Privacy, Google



加盟企業の声

加盟企業の声

GlobalPlatformの基準は、私たちの取り組みの当初から、常に極めて妥当なものであり、私たちにとって重要でした。私たちチームには、例えばスマートカードのオペレーティングシステムの構築で幅広い経験があります。また、ごく最近では、私たちの仮想的な高信頼実行環境(vTEE)は、EMVCo SBMP TEEに基づき評価・承認されており、これはGlobalPlatformのTEE仕様に基づいています。私たちは、GlobalPlatformとともに私たちの探究を始めること、特に、私たちが重視している重要分野であるeIDウォレットタスクフォースのワークグループに参加することを楽しみにしています。

 **Licel** | Mikhail Dudarev,
Co-founder and CTO, Licel

Quarkslabでは、攻撃および防御ソフトウェアのセキュリティにおける最先端の専門知識をまとめており、これはいずれも、私たちのコンサルティングサービスと私たちが専門とするソフトウェア保護製品によるものです。

GlobalPlatformへの私たちの参加は、ソフトウェア保護の決定的な重要性を強調し、私たちのノウハウをコミュニティと共有することを目的としています。

私たちは、SESIPなどの基準に有効なソフトウェア保護を埋め込むことにより、会員が自らのIoTデバイス、プラットフォーム、サービスのセキュリティ強化を支援することにコミットしています。主要なマイルストーンとして、2025年に私たちは、ソフトウェア対策に関するホワイトペーパーの作成を主導しており、年末までの公開を予定しています。

 **Quarkslab** | Béatrice Creusillet,
Product R&D Manager,
Quarkslab

「Thales Digital Identity & Securityは、デジタルセキュリティにおけるグローバルリーダーであり、ますますコネクテッドなものとなっていく世界に信頼をもたらしています。私たちの技術は、決済から、企業セキュリティやモノのインターネットまで、現代生活の中心にあり、私たちのクライアントが何十億もの個人とモノのために、セキュアなデジタルサービスを提供することを可能にしています。こうした大衆市場の製品とサービスの良好な展開は、傑出した基準に加え、厳しい機能コンプライアンスとセキュリティ認証を必要としています。タレスは、いくつかの標準化団体とイニシアチブを主導し、これに参加しており、GlobalPlatformは、最も重要な標準化設定組織の一つです。それは、GlobalPlatformが何十億ものデバイスのセキュリティの中心となる主要な業界基準を定義しており、そこから、全員が信頼できる将来をタレスが築くことができるからです。」

 **THALES** | Jean-Daniel Aussel,
Head of Standardization,
Thales Digital Identity
& Security.

セキュアなOSソリューションのプロバイダーであるTrustonicは、規模と速度の両面で、業界全般にわたる採用を推進するうえで基準が果たす決定的な役割を理解しています。GlobalPlatformは、この取り組みの助けになり、セキュアな技術にベンチマークを設定し、業界全体でシームレスなポータビリティを可能にしています。その好例の一つが、オートモーティブタスクフォースが行っている影響力のある取り組みです。

シリコンのベンダーとデバイスメーカーにとっては、自らのソリューションが最高水準の保護を提供できるという自信を持つことが不可欠です。GlobalPlatformは、その確固たる基準と認証プログラムを通じて、そうした確信を与えてくれます。

GlobalPlatformの基準の継続的進化を支援することは、長年にわたって私たちの開発戦略の中心にありました。GlobalPlatformが今後も中心的な焦点であると全面的に予想しています。

 **TRUSTONIC** | Andrew Till, GM,
Secure Platform, Trustonic



**Global
Platform®**

Securing the digital future

→ globalplatform.org

